



http://www.shinshiyou.com

〒221-0055 横浜市神奈川区大野町1-25 横浜ポートサイドプレイス509 アネックス5F
TEL.045(440)3210 FAX.045(440)3209

発行元/公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会 発行人/会長 小澤 俊通 編集人/神私幼総務部(広報室) 発行/年4回(6月・9月・12月・3月) 発行部数/1700部



INDEX

2 会長挨拶
私立幼稚園の役割と幼児教育の重要性

公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会 会長 小澤俊通

3 第30回関東地区代表者協議会 山梨大会開催される
第32回全日本私立幼稚園連合会「設置者・園長全国研修大会」金沢大会に参加して

総務部次長 鈴木豊司

経営管理部長 近藤康弘

4-5 研修事業部・研究部 活動報告

研修事業部 教員免許状更新講習/研究部 男性保育者勉強会
研修事業部 園内研修/研修事業部 公開研究保育/研究部 乳児保育セミナー

6 平成28年度既卒者等向け就職セミナー報告 幼稚園教育振興連盟から
12月は藤沢、1月には相模原で開催 私幼の発展と振興のために加入率80%の壁を越える

経営管理部長 浅谷 学

幼稚園教育振興連盟会長 渡邊眞一

7 Pride of KANAGAWA

平成28年度神奈川県私立幼稚園父母の会連合会研修大会報告
夢を追い続けて…～諦めない！ポジティブに！いつも元気なその秘訣～

8 研修会報告

法律相談事業
弁護士が関与することについて 泉連窓口担当 西村将樹 弁護士



会報「神私幼」父母の会版 発行のお知らせ

設置者・園長向けに会報「神私幼」を年4回発行してまいりましたが、本年度より神奈川県私立幼稚園連合会に加盟する幼稚園の保護者の皆様向けに父母の会版を年1回発行するに到りました。併せてご愛読頂ければ幸いです。

会長挨拶

私立幼稚園の役割と 幼児教育の重要性

時は瞬く間に過ぎて、一年の最後の月を迎えました。街角にはクリスマスソングが流れ、夜のイルミネーションが鮮やかに浮かび上がっています。加盟園の園長・設置者の皆様には益々ご健勝のことと存じます。日頃から県連へのご支援・ご協力に感謝申し上げます。



公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会

会長 小澤俊通

ともに生きる社会かながわ憲章

七月二十六日の相模原市緑区の障害者支援施設「津久井やまゆり園」での悲劇は、私たちの心に大きな衝撃をもたらしました。亡くなられた方々、負傷された方々に心からのお悔やみとお見舞いを申し上げます。

この事件は、障がい者への偏見と差別的思考から引き起こされたと考えられ、何とも言いようのない深い悲しみの気持ちになりました。神奈川県は十月十四日に、「ともに生きる社会かながわ憲章」を制定し、誰もがその人らしく暮らすことの出来る地域社会の実現を目指しています。このような事件が二度と起きないように、私たち幼児教育関係者もそれぞれの立場で出来ることを考え、行動していきたいと思えます。

神奈川県子ども・子育て会議専門部会について

子ども・子育て会議には、三つの専門部会が設けられています。私は全ての部会の委員として参加しております。

七月下旬には、幼保連携型認定こども園認可専門部会が開催され、平成二十九年四月からの認定こども園認可を審査致しました。秦野市の二園の保育所から設置計画が提出され、審議致しました。共に一号認定の利用定員を新規開設することが示され、秦野市の一号認定の需要と供給のバランスはどのようになっているか正しました。保育所由来の幼保連携型認定こども園において、一

号認定の子どもを無制限に設定されるということは、私立幼稚園の存亡に関わることです。県の認可専門部会では政令市・中核市を除いた二十九市町村の計画を審査しますので、県内全ての状況を把握するには、政令市・中核市の協会役員方との連携が欠かせません。しっかりと情報交換に努め、私立幼稚園の立場を述べたいと考えています。

八月には、人材・情報専門部会及び計画フレーム専門部会が相次いで開催されました。人材・情報専門部会では、「幼稚園教諭の確保は進んでいる」との事務局案に異論を唱え、修正をお願い致しました。程度の差こそあれ、県内各地の幼稚園では教諭の確保に苦慮しています。実態に即した県の確保方策が求められます。計画フレーム専門部会では、市町村の計画進捗状況が議論になりました。当初計画への進捗率は高く、現在の需要に対しての供給体制進捗率とすべきであるとの意見に賛同致しました。今後とも会議や専門部会を通じて積極的に発言していくつもりです。

新制度の検証は

幼稚園制度の大改革といわれる「子ども・子育て支援新制度」は二年目を迎え、来年度の移行予定状況が明らかになって来ました。来年度の移行は四十七園が予定され、県内私立幼稚園の移行率はようやく二〇％を超えました。当初予想されていた移行に

も深く関わっている事、参加県間においても、私学助成だけで園児一人当たり四万円以上の最大格差がある事、またその他の助成についても地域格差がやや大きい事等が浮き彫りとなりました。

その他に親睦の時間を十分に頂戴できず知識の習得以外に参加者の皆様との文化親交も充実しました。

ところで次年度は、神奈川県が開催幹事となります。今回同様多くの皆様を横浜にお呼びします。より充実した意義ある協議会の開催を目指し、既に準備は始まっています。皆様にお力添えを賜る機会もあると思えますが、その際はどうぞご協力の程宜しくお願い申し上げます。

第30回

関東地区代表者協議会

山梨大会開催される



総務部次長 鈴木豊司

去る十一月一日・二日の二日間、霊峰富士の裾野、山梨県富士吉田市にて、第三〇回関東地区代表者協議会山梨大会が、「新制度から一年半、今、自園の使命を考える」制度論を越えて」をテーマに開催され、神奈川からの小澤会長以下計十四名を含む、関東八県（神奈川・群馬・栃木・茨城・埼玉・新潟・千葉・山梨）の幼稚園団体役員及び行政担当官総勢百名強が参加しました。

- 一、山梨大学・加藤繁美教授による「子どもの権利条約の時代の保育の課題」
- 二、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部・西田紫郎氏による「地方創生と幼稚園」
- 三、参加八県行政担当者による「私立幼稚園の現状と課題」について
- 四、都留文科大学・渡辺豊博特任教授による「富士山・世界文化遺産とその課題」

と、多岐にわたる協議がなされ、幼稚園を取り巻く課題は新制度等によるものだけでなく、主に東京を中心とした一極集中化による、地方人口の流出

山梨大学・加藤繁美教授



も深く関わっている事、参加県間においても、私学助成だけで園児一人当たり四万円以上の最大格差がある事、またその他の助成についても地域格差がやや大きい事等が浮き彫りとなりました。

その他に親睦の時間を十分に頂戴できず知識の習得以外に参加者の皆様との文化親交も充実しました。

ところで次年度は、神奈川県が開催幹事となります。今回同様多くの皆様を横浜にお呼びします。より充実した意義ある協議会の開催を目指し、既に準備は始まっています。皆様にお力添えを賜る機会もあると思えますが、その際はどうぞご協力の程宜しくお願い申し上げます。

ともに生きる社会かながわ憲章

～この思いを力に、ともに生きる社会を実現します～

平成21年7月21日、障害者支援施設である私立「津久井やまゆり園」において13人が死亡し、27人が負傷するという、大変痛ましい事件が発生しました。この事件は、障がい者に対する偏見や差別的思考から引き起こされたと考えられ、障がい者やそのご家族のみならず、多くの方々に、言いようのない衝撃と不安を与えました。

私たちは、これまでも「ともに生きる社会かながわ」の実現をめざしてきました。そうした中でこのような事件が発生したことは、大きな悲しみであり、強い怒りを感じています。

このような事件が二度と繰り返されないよう、私たちはこの思いを力に、新憲章とした決意をもって、ともに生きる社会の実現をめざし、ここに「ともに生きる社会かながわ憲章」を定めます。

- 私たちは、あなたがいちばん大切にして、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

平成28年10月14日 神奈川県

お問い合わせ先 神奈川県福祉局福祉政策課福祉部 電話 045-210-4700 FAX 045-201-2051

伴う収入減はほとんど見受けられず、大規模園でも収入は維持されているようです。しかしながら、認定こども園に移行したことに伴う人材の確保に苦慮したり、複数の市町村とのやり取りに苦労したり、事務負担の増大による負担は大きいといえます。相変わらず市町村の理解が進まないという声も届いています。これからは新制度への移行をスムーズにするためには、まだまだ改善すべき点は多々あると感じます。

また、移行園へのアンケート調査も行われており、その結果によっては財務面を含めて厳しい対応が予想されます。安定的に運営するには、公定価格の改善や事務負担の軽減が求められます。新制度移行園に対しては、県の実施している学校検査に代わる市町村担当者も含めた検査も実施されると思えますが、幼児教育の現場をよく理解して頂き、あまり準備や対応に時間を取られる事のないようお願いしていきたいと存じます。

私学助成園への処遇改善

「存じの通り、新制度移行園には教職員処遇改善加算が行われ、教職員の給与面へ

の改善が進んでいます。このままでは、新制度移行園と私学助成園での教職員の待遇に大きな差が生まれてしまふ恐れがあります。全日本私立幼稚園連合会は、文部科学省に働きかけ、「私学助成園への処遇改善を」と訴えてまいりました。文科省の担当者の理解を得て、来年度の予算に反映される方向となりました。

しかしながら、制度としては各園の処遇改善を県行政が支援した場合に、国の経常費補助金の枠内での支援に留まります。県連は早速、茂木県民局長や秋山私学振興課長に要望に伺いましたが、経常費補助金が国基準に達していない状況にあつては、経常費補助金増額に全力を挙げたいという回答でありました。経常費補助金が国基準に近づけば、各園としても教職員の処遇改善に対応できると考えています。全国の状況を注視しつつ、今後も働きかけを続けていきたいと思えます。

年末に向けて、園務に追われる毎日だと存じますが、加盟園の皆様におかれましてはお体をご自愛され、輝かしい新年を迎えられますようお祈り申し上げます。

第32回全日本私立幼稚園連合会

「設置者・園長全国研修大会」

金沢大会に参加して



経営管理部長 近藤康弘

十月十七日・十八日に石川県金沢市にて第三十二回全日本私立幼稚園連合会「設置者・園長全国研修大会」が開催されました。全日私幼連副会長・小澤俊通先生の開会のことは皮切りに式典が始まり、記念講演では「不易流行」つなぐこと、変わること」をテーマに、パネラーとして九谷赤絵作家の第一人者である福島武山先生、九谷焼作家四代の徳田八十吉先生が登場され、全日私幼連総務委員長・田中辰実先生が舵をとられて進行しました。

福島先生は一代で「赤絵細描」という独自の作風を作り出し、エルメスの文字盤等、現在も新しい作風に挑戦している方です。

徳田先生は、人間国宝三代の長女で、二〇〇一年に襲名され、女性としての視点で、色々な経験、体験、苦悩、試練を経て、独自に調査をした釉薬で、新たに鮮やかな作品を生み出された方です。次世代に伝える難しさを感じながら更なる新しいチャレンジをされています。

「不易流行」とは永遠に変わらない伝統や芸術の精神にも、新しみを求めて時代とともに変化するものを取り入れていくことを意味し、その言葉に相応しい石川県の伝

統工芸家であられるお二人に、初代と継承者としての立場からエピソードや工芸家としての葛藤などのお話を伺うことができました。

また、今大会の行政報告は例年と違いパネルディスカッションの形態をとり、全日私幼連経営研究委員長・尾上正史先生が、文科省の伊藤学司幼児教育課長と、前課長で現在の私学助成課長・淵上孝氏の二人のパネラーに対し、幼稚園サイドからの質疑応答を行う形で進行されました。新制度の様々な課題や国のお金の流れ等々、本音のお話を引き出していました。

二日目は四つに分かれての分科会が行われ、私は研究講座・経営・園運営にかかわる危機管理について」を選択し、園長・教員の責任の違い、現在の賠償問題等についての話を聞き、改めて園経営の取り組み方を考える良い機会となりました。

を意味し、その言葉に相応しい石川県の伝



研修事業部 教員免許状更新講習 湘南地区各協会の協力のもと

研修事業部長 田中伸宜

小田原短期大学の全面的な協力のもと、教員免許状選択領域講習を十月二十九日・三〇日・十一月十二日の三日間開催しました。小田原城天守閣より高い位置にある教室からは相模湾が一望でき、天気の良い日は大島もくっきり眺めることができます。そんな素敵なキャンパスにおいて開催された講習会には三日間で延べ約一八〇名の教員が受講しました。

今回の免許状更新講習は茅ヶ崎協会を中心に準備及び実施されました。担当先生の中には三日間、時間になると三〇時間ほど、この免許状更新講習に貴重な休日のお時間をさいていただいたこととなります。本当に感謝です。



受付やオリエンテーション、試験問題の配布、試験監督、さらには試験の採点の手伝い等、他の研修会や研究会とは比較にならない重労働、

研修事業部 園内研修 子どもを見るには

研修事業部 石井 望

講師 岸井慶子先生 青山学院女子短期大学教授

ビデオカンファレンスをテーマにした「園内研修」の講座ということで、受講前は映像記録の活用法、言わばハウツーを学べるようなものでは何となくはなしに考えていました。しかし実際には、そういう表層的なものではなく、もっと深い、保育とは、子どもを見るにはどういったことを考えさせられる内容でした。

一つの映像記録を岸井先生の解説を交えながら一緒に見ていくことで、先生の子どもに対する眼差しや思いを感じられました。また、ビデオを利用する上での基本的な姿勢についても教えていただきました。その中でも特に心に残っているのが、「無理やりに解釈を付けるのではなく、分からないことは分からないままでよい」「保育者は子どもに関わりながら、『重ね描き』で理解していく」というものでした。子どもに思いを寄せ、働きかけながら、子どもの姿をとらえていくのが実践者の子ども理解の仕方であり、強みでもあるとい



みであるとい

＜「免許状更新講習」「免許状更新講習免除」の申請について＞

*神奈川県教育委員会のものでありますので、神奈川県以外の幼稚園にお勤めの方は、お勤めの幼稚園の都道府県のホームページをご覧ください。

・インターネットで「神奈川県教員委員会」を検索してください。
「神奈川県教育委員会ホームページ」
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f6556/>を開きます。

★トップページ左側の「ピックアップ」欄より
①教員免許(クリック) → ②現職教員・学校向け情報(クリック) → ③教員免許状更新に係る学校・幼稚園及び現職教員向け情報(クリック) → ④「申請書等の様式」

*こちらから、申請書用紙をダウンロードしてご使用ください。
*詳しい事は「よく使う資料」の「教員免許更新制に係る実務Q&A」をご覧ください。

対象者 昭和36・46・56年4/2～12/31
昭和37・47・57年1/1～4/1生まれの方は、H29年1月末日までに免許状の更新が必要です。
昭和37・47・57年4/2～12/31
昭和38・48・58年1/1～4/1生まれの方は、H30年1月末日までに免許状の更新が必要です。

申請に必要な物 第14号様式の5「免許状更新講習申請書」(免許状更新講習受講者)又は第14号様式の8「免許状更新講習免除申請書」(園長等免除対象者)
①お持ちの免許状すべての原本(コピーの場合は第3号様式3の証明者の証明のあるもの)又は授与証明書(授与権者が発行した原本)が必要。
②幼児園教諭免許状の1種と2種持参の場合、両方必要。その他教員免許のある方は全てお持ちください。

その他 ③「神奈川県収入証紙」3,300円分
④「宛先を明記し82円分の切手を貼付した定形の封筒」を御持参ください。(郵送での受け取りを御希望の場合)
*免許状や証明書の氏名・本籍地に変更がある場合は、学校長が証明した履歴事項変更確認書又は戸籍抄本(異動の履歴が確認できるもの・コピーは不可)が必要です。

場所 神奈川県教育委員会事務局教職員企画課 免許グループ
横浜市中区日本通33 神奈川県住宅供給公社ビル3F
TEL.045(201)1111(代表)
[受付時間] 平日9:00～11:30・13:00～16:00
(12/29～1/3を除く・2月～4月初旬受付停止期間)
*神奈川県収入証紙は、事前に用意してから、手続きをしてください。最寄りの警察署内交通安全協会県庁新庁舎地下売店等で購入できます。その他でも販売しておりますので、ホームページをご覧ください。

研究部 男性保育者勉強会 継続は力なり

研究部 林田伸吾

講師 相馬靖明先生(和泉短期大学准教授)

八月三〇日、昨年に引き続き男性保育者勉強会が行なわれました。講師は前回同様、



あり、実施園の教諭も加わって、グループ討議を行い、最後に講師から保育実践や幼児理解についてのまとめをして頂きました。「のぞみ幼稚園」でも同様な流れで行われ、活発な協議があり、参加者

もとても有意義な研修になったという感想が多かったです。今年まで六年で十二回の公開研究保育を行いました。参加者にとって実施園の保育は新鮮で、ただお話を聴くだけの講習会に比べてとても深い研修ができると大変好評です。また、実施園の教員にとっても

始まる前は緊張し、とまどい、気が重い感じでしたが、参加者からの意見や励ましの言葉を頂き、大変勉強になったという感想が多く聞かれます。次年度も多くの先生方のご参加をお待ちしております。

研究部 乳児保育セミナー

乳児保育の重要性和責任の重さ

研究部長 亀ヶ谷 忠宏

講師 井桁容子先生

(東京家政大学 ナースリールーム 主任保育士)
(東京家政大学 非常勤講師)

昨年開催した井桁先生による初めての乳幼児について学ぶ研修会が好評で、今年度



男性保育者の先駆者でもある相馬先生にお願いしました。昨年、初めて行われた男性保育者勉強会ですが、前回から引き続き参加されている先生も多く、参加者の関心の高さを感しました。勉強会では、幼稚園教諭としての経験年数ごとに、四〜五名ずつグループに分かれ、「アクティブトランジション」カードde「トーク」を使い、自分の考えを伝え合いました。カードに書かれている人物像の中から一緒に働きたくない人物像のカードを三枚選び、その理由をグループの皆に話しました。徹夜を自慢するカードや大きな夢を語るカード、習い事で忙しさをアピールするカード、過去の栄光を話すカードなど、内容はさまざま。その後、同じカードを使って、今度は一緒に働きたい人物像のカードを選びました。マイナスに見える面も別の角度から見るとプラスに見える面も、また他者の選んだ理由を聞くことで、一人の人物をさまざまな角度から捉えることが出来るなど、男性保育者として大切な視点に気付いた勉強会となりました。

はさらにしっかり学ぶために鶴見大学をお借りして二回連続の研修会で行っています。それも県連の研修会としては異例の夜六時半からの開催にもかかわらず、約九〇名の先生方が熱心に参加されています。集団保育の視点から考えてしまいがちの幼稚園の私たちにに向けて井桁先生は、とにかく〇・一・二歳の保育は一人ひとりの命や安全に直結する仕事なので、一人ひとりの個を丁寧に見て育てていくことの重要性を話して下さいました。感情が育つ臨界年齢は三歳、だからこそ、乳児一人ひとりの感じ方や、それを表現することの大切さから「感情教育」の重要性を説かれました。乳児は、「救われて救われて救われて」を何千回と体験してこそ安定した豊かな感情が育つ。そのためには保育者自身の感動を大事にして欲しい。そして、本音を出せず苦しんでいるママ達のために保育者は子どもの心持ちに共感する人になってほしい。赤ちゃんの保育は見落としが許されないし、すべてが育ちに通じている、というお話をいただきました。

井桁先生のお話は、今まさに、幼稚園教育から新たに乳幼児の保育の世界に足を踏み入れようとしている我々にとって、金言となるものです。

祝 KANAGAWA

今年も私立幼稚園界に嬉しいお知らせがありました。心よりお祝い申し上げます。

解説

平成28年度神奈川県私立学校教育功労者表彰
私立学校教育の振興を図るため、知事所轄の私立学校の教職員、校長、園長、理事長及び設置者として、他の模範となる特に顕著な功績をあげた方に贈られます。

平成28年度神奈川県私立学校教育功労者表彰

学校法人横須賀田中学園
幼保連携型認定こども園
うまち幼稚園 理事長
田中 なごみ 先生



学校法人ニューライフ学園 理事長
ニューライフ幼稚園 園長
角和 一太郎 先生



学校法人逗子かくのみ学園
かくのみ幼稚園 園長
石井 稔江 先生



学校法人大谷学園
大谷学園幼稚園 理事長
大谷 啓子 先生



秋気いよいよ深まる中、会場となりました神奈川県立音楽堂には県内全域より、大変多くの会員の皆様にお集まり頂き、大盛況の中、開会式が始まりました。最初に主催者より、今の子どもたちを取り巻く厳しい状況の中で家庭・幼稚園・地域社会が連携して子どもたちを見守り、育てていく環境作りに向けたご挨拶がありました。それに引き続きご多忙の中、会場に駆けつけて下さいました、ご来賓の県民局長・茂木吉晴様、県議会議長・森正明様、県私学審議会長・牧島功様には、今日の幼稚園教育に対するご理解あるお言葉と共に、更なる子育て支援の拡充をと、力強いご挨拶を頂きました。



夢

平成28年度神奈川県私立幼稚園父母の会連合会研修大会報告

神奈川県私立幼稚園父母の会連合会副会長 石井智香子

～諦めない！ポジティブに！いつも元気なその秘訣～
講師 スポーツクラブ内村 指導者 内村周子先生
して活躍中の内村周子先生による講演が「夢を追いつけて……諦めない！ポジティブに！いつも元気なその秘訣」をテーマに始まりました。
立ち見の方が出る程、熱気に溢れる会場が始まった講演は、まるで仲の良いママ友達のお話を聞いているようでした。ご自身の幼少期から始まり、小・中・高・大学の幼少期から始まり、小・中・高・大学、そしてご主人様との出会い、結婚・出産・子育てのお話を、多くの笑いと、時に涙を流しながら語って下さいました。
内村先生は、今までの人生で、航平さんと春日さんが産まれた瞬間が一番の幸せだったとおっしゃっていました。
今現在においても、何よりも子どもも第一で生活されているとお話し下さいました。子どもの時にご両親から言われて傷付いた事や、悲しかった事はわが子には絶対にしないと言いつつ、子育てをしてきたそうです。子どもを責めない、プレッシャーをかけない、悲しい思いをさせない、



話をちゃんと聞いてあげる、居場所をしっかり作ってあげる。子どもが苦しみ、悩んでいる時は、母親である自分は子どもの葉でありたいと話されていました。そして「子どもの心をポジティブにしてあげよう!!」そのためにも、自分がポジティブでいなくては!!」と力強くおっしゃっていました。
私は講演を聞いている最中から、子どもたちに会いたい、抱きしめて「大好きだよ!!」と伝えたいと思いました。
今回の研修大会では、多くの事を学び、感じ、母親になった事の幸せを再認識する事ができ、子育ての楽しさを改めて見つめ直す大変有意義な時間を持つことができました。
この機会に感謝すると共に、皆様のお胸にも思いが届き、これからのお子様と過ごす時間のお役に立てただければ幸いです。

潜在幼稚園教諭の再就職を促すための現場復帰支援研修・就職相談会・現場見学会からなる「既卒者等向け就職セミナー」を十一月五日に開催しました。
はじめに、かながわようちえん会館で行われた現場復帰支援研修には、民間企業の従業者やアルバイトに加え、現職の幼稚園教諭・保育士など十六人が参加しました。池田清副会長、近藤康弘経営管理部長の挨拶の後、玉川大学教授・若月芳浩先生（四季の森幼稚園園長）から「就職・現場復帰に向けて子どもたちの世界って楽しいですね」と題する講演が行われました。若月先生は「人間（乳幼児・保護者・同僚）の心を大切にすること」をキーワードに、これからの幼稚園教育に必要な学習指導要領及び幼稚園教育要



領の改訂や子ども・子育て支援新制度、教員免許更新新制等について詳しく解説されました。参加者からは「時代とともに変化している保育についての情報が聞けてよかった」「子どもといると楽しいというのを感じた」などの感想が寄せられました。そして、「神奈川の私立幼稚園は皆様が方を必要としています」との小澤俊通会長の挨拶で研修は終了となりました。
続く就職相談会では経営管理部長が相談に応じ、「前向きな気持ちになれた」「今後のことがイメージできた」という声の一方、「勤務希望地に詳しい方がいなくて残念だった」といった意見もありました。
（会場を幸ヶ谷幼稚園（木元茂園長）に移しての現場見学会には五人が参加し、土曜日の預かり保育の様子を見学しました。保育者との質疑応答のほか、木元園長からは同園の保育について話してもらいました。

平成28年度 既卒者等向け就職セミナー報告 12月は藤沢、1月には相模原で開催



経営管理部長 浅谷 学

幼稚園教育振興連盟から 私幼の発展と振興のために 加入率80%の壁を越える



幼稚園教育振興連盟 会長 渡邊 眞一

幼教振（神奈川県私立幼稚園教育振興連盟）では、自民党県議（教育グループ）と政策集団を立ち上げ、当面する課題を中心に年数回の会合（勉強会・情報交換会など）を定期的に開催することを決定し、平成二十八年も二回の会合をもちました。県連会員園の先生方はすでにご承知の通り、平成二十八年度の経常費補助金の園児一人単価（二五二、五〇五円）は、十七年振りの最下位の脱出でしたが、教育グループの先生方をはじめ自民党県議団の強い後押しがあつての成果でした。会としてはこの動きを更に加速させるエネルギーが必要です。そのためには幼教振各支部加入率を八〇%以上しなければ組織としての力が発揮できません。今年度の加入状況は下表の通りです。横浜地区の加入を強く求めます。すべての幼稚園の発展と振興に寄与するのがこの会の目的です。新たな入会園をお待ちしております。

平成28年神奈川県私立幼稚園教育振興連盟加入率

支部名	加入率	支部名	加入率
横浜支部	48.6%	相模原支部	83.8%
川崎支部	83.1%	湘央支部	70.7%
横須賀支部	83.3%	小田原支部	8.3%
鎌倉支部	59.1%	相和支部	77.8%
藤沢支部	6.7%	逗葉支部	80.0%
茅ヶ崎支部	43.8%	厚木支部	70.0%
全体平均加入率 59.6%			

（三回の交流会の開催をお願いします。この交流会が本来の振興活動です。年会費一万円以上の価値があると考えますので、よろしくお願ひします。
次に次回の地方選挙では、地区活動の成果をもって幼教振の推薦状を県議候補者に出そうと考えています。このことは県議にも伝えますので、ひとつこの機会に各地区での交流会を企画され、その成果を示してほしいと思います。
とにかく幼教振は役員の方ではありません。県内すべての私幼の発展と振興のために、どうしても八〇%の壁を越える組織力と地区活動が一体となる必要があることをご理解ください。

研修会報告

研究部主催

研修事業部主催

- 9月7日(水) 小田原オープン講座 小田原短期大学体育館 75人
『新聞紙で学ぼう』～工夫次第で素材は生きる～
小田原短期大学 准教授 吉田 収 先生
- 9月8日(木) 園内研修兼10年経験者研修会 相鉄岩崎学園ビル 24人
『園内研修』
青山学院女子短期大学 教授 岸井 慶子 先生
- 9月9日(金) 相模原オープン講座 大野文化幼稚園ホール 38人
子ども達の表現とは？発表会とは？ Part. 2
～人間的な豊かな内面の形成を礎として～
東京家政大学 教授 花輪 充 先生
- 9月21日(水) 茅ヶ崎オープン講座 めぐみの子幼稚園 62人
『子どもを預かる施設におけるリスクマネジメントとコミュニケーション』
心理学博士 NPO法人保育の安全研究教育センター 掛札 逸美 先生
- 9月28日(水) 乳児保育セミナー 鶴見大会館 83人
「一生の基礎となす乳児期の重要性を学ぶ
～学ぶ力、生きる意欲が育つ保育と保育者の役割～」第1回
東京家政大学ナースリールーム 主任保育士/東京家政大学 非常勤講師 井桁 容子 先生
- 10月4日(火) 園内研修兼10年経験者研修会 かながわようちえん会館 25人
『園内研修』
青山学院女子短期大学 教授 岸井 慶子 先生
- 10月19日(水) 新規採用教員研修会 神奈川県立体育センターアリーナ 102人
体験しようアドベンチャー教育 第2回
玉川大学TAPセンター 白山 明秀 先生
- 10月19日(水) 川崎オープン講座 川崎市中原市民館ホール 102人
『うたあそび』
歌手・千葉敬愛短期大学現代子ども学科 教授 岡崎 裕美 先生
キッズプランナー AYAKO 先生
- 10月20日(木) 公開研究保育 いのやま幼稚園 30人
公開保育
植草学園大学 名誉教授 野口 芳宏 先生
- 10月25日(火) 若手後継者のための保育勉強会 かながわようちえん会館 25人
「若手の保育者が育つ園文化形成のために必要なこと」
認定こども園せりひじり幼稚園・ひじりにじいる保育園 園長 安達 讓 先生
- 10月27日(木) 第3回特別支援教育研修会兼10年経験者研修会 かながわようちえん会館 88人
子どもと家庭をめぐる今日的課題と具体的支援家族支援を考える
Nippon Date社会福祉研究所副所長・教育福祉研究室長 上原 文 先生

- 10月29日(土) 免許状更新講習 小田原短期大学 73人
・絵本について考えるー絵本の基本概念と表現の仕組みー
小田原短期大学 講師 馬見塚 昭久 先生
・子どもたちきいていく環境をとともに考える
小田原短期大学 准教授 野津 直樹 先生
- 10月30日(日) 免許状更新講習 小田原短期大学 72人
・幼児の音楽的表現活動を見据えた保育者自身の構え
小田原短期大学 講師 望月 たけ美 先生
・子どもを巡る家庭の諸問題と相談援助
小田原短期大学 講師 上野 文枝 先生
- 11月5日(土) 既卒者向け就職セミナー かながわようちえん会館 16人
「就職・現場復帰に向けて～子どもの世界って楽しいですね～」
玉川大学 教授 若月 芳浩 先生
- 11月8日(火) 神奈川県私立幼稚園父母の会連合会研修大会 神奈川県立音楽堂 1013人
「夢を追い続けて…～諦めない！ポジティブに！いつも元気なその秘訣～」
スポーツクラブ内村 指導者 内村 周子 先生
- 11月12日(土) 免許状更新講習 小田原短期大学 57人
・子どもの育ちを支える者たちの連携
小田原短期大学 准教授 菊地 篤子 先生
・人間発達の理論に学ぶー個人・集団・社会ー
小田原短期大学 講師 小倉 直子 先生
- 11月15日(火) 公開研究保育 のそみ幼稚園 25人
公開保育
関東学院大学 名誉教授 鈴木 秀雄 先生
- 11月16日(水) 鎌倉オープン講座 西鎌倉幼稚園 156人
『3歳未満児の発達と保育』
深大寺保育園副園長・元立教女学院短期大学教授・子どもとことば研究会代表・質の高い乳児保育を目指す実践研究会代表 今井 和子 先生
- 11月16日(水) 102条園研修会 かながわようちえん会館 22名
「相続非課税と新制度」と「新制度の加算項目についての考察」
公認会計士 柏谷 道正 先生・白井健次郎 先生
- 11月30日(水) 乳児保育セミナー 鶴見大会館 100人(予定)
「一生の基礎となす乳児期の重要性を学ぶ
～学ぶ力、生きる意欲が育つ保育と保育者の役割～」第2回
東京家政大学ナースリールーム 主任保育士/東京家政大学 非常勤講師 井桁 容子 先生

法律相談事業 弁護士が関与することについて

県連窓口担当 西村将樹 弁護士



R&G横浜法律事務所
横浜市中区住吉町1-2
(スカーフ会館3階)
TEL.045-671-9654

当事務所では平成24年12月より、県連合会との間で法律顧問契約を締結し、法律相談を担当させていただいておりますが、皆様からご相談を受ける中で感じることについて少しお話をさせていただきます。

従来は幼稚園で生じる問題に弁護士が関わることはごく例外的であるべきだと考えられてきたのではないかと思います。ある意味では警察が関わるのと同じレベルと捉えられており、それは「教育の失敗」であるから何とか避けたいという考え方も少なくなかったのではないかと想像します。しかしながら、幼稚園も社会の一部である以上、法的に処理することが適切な問題が発生するのはむしろ自然なこ

とであり、これは教育の良否とは別の問題であると思います。実際に法律相談をさせていただく際には、その点についてまずご理解いただくことを心掛けていますが、紛争を解決するという経験が乏しい場合には実感していただくことが難しいこともあります。

例えば、保護者との間で問題が生じたときに、保護者側に弁護士がついていないにもかかわらず幼稚園側で弁護士に依頼するのは、保護者の気持ち等を考えると非常に悩ましいところだと思います。ただ、事案の複雑さ、深刻さ、保護者の性格等を総合的に判断した時に、早い段階で弁護士に問題を移管した方がいいケースは必ずあると考えます。紛争に慣れすぎるのは良くないのかもしれませんが、問題を適切に解決するために法律相談を前向きに活用していただければと考えていますので、今後ともよろしく申し上げます。



編集後記

From the Public Relations Section

冬場にしっかり体力づくり！

霜月11月が過ぎ、師走の声を聞くこの時期は、各園とも来年度の園児募集・教職員募集も一段落した頃と存じます。待機児童対策による保育所の新設増もあり保育業界の人材不足は深刻な問題です。まだ求人が満たされない園は様々な手段を講じて頑張ってください。

さて、神奈川県の小5児童の体力・運動能力が全国最下位であることをご存知の先生方も多いことでしょう。先頃、運動会で校庭をお借りしている中学校の校長先生と話す中でその話題となり、「担任の力が大きい」という話を伺いました。休み時間に担任がよく外に出て遊ぶクラスの子どもの体力も運動能力もつくが、そうでないクラスは育たないとのこと。やはり問題は子どもにあるのではなく、大人にあるのです。冬場はマラソン、駅伝、サッカー、ラグビー、スキー、スケート等々の季節。教師も子どもも沢山走り、沢山運動し、共に元気な体づくりに励みましょう。

本年も『神私幼』をご愛読いただき、ありがとうございました。どうぞ良いお年をお迎えください。

広報室員 吉村文比古